

第Ⅳ期中期経営計画の骨子

1. 計画の方向性

(本院の役割)

・高岡医療圏における中核的病院として、また公立病院として、医学の進歩に伴う医療の高度化、市民ニーズの多様化に適切に対応するため、質の高い医療サービスを提供していくことを使命としている。

(今後の動向)

・国においては、社会保障・税一体改革を推進する中で、2025年に向け、患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担などを進めるとしており、急性期病床の再編に向けた動きが今後出てくると見込まれる。

(目指すべき将来像)

- ・高岡医療圏において救急医療、がん治療などの高度医療を担う急性期病院として、その機能強化に努め、質の高い医療を実践していく。
- ・自治体病院として、民間医療機関では限界のある政策的医療に引き続き取り組むとともに、地域ニーズの高い医療サービスを提供する。
- ・地域医療機関や介護施設等とのさらなる連携（情報通信技術の利用促進等）を含めたチーム医療の推進により、安心して信頼のおける地域完結型医療を目指す。

2. 計画期間

平成26年度～平成30年度

3. 計画の概要

- (1) 2025年の方向性を見極めながら、引き続き急性期病院としての役割を担うため、その方向性にあった施策の実施を盛り込む。
- (2) 第Ⅲ期中期経営計画を踏襲し、医療の質の向上と経営の2大項目を維持しながら、中項目を今後の方向性に沿ったものに再編成する。
- (3) 進捗管理の重要性及び簡素化のため、客観的な評価指標を設定し、進捗の管理を行いやすくする。

—医療の質の向上—

—安全・安心・納得の医療提供—

・医療情報提供、医療相談体制の充実

- 根拠に基づく医療の実践、推進、インフォームド・コンセントの徹底、充実や心のこもった接遇による患者さんが安心、納得する医療の提供
- 広報機能強化による本院の治療の特長、症例数、手術件数等の医療情報を広く提供

★総合診療外来の設置

- 看護外来、がん相談支援センターの機能強化等による患者サポート体制の充実

・信頼される病院づくり

- 病院機能評価の認定更新
- 医療安全体制の維持・強化
- 院内感染防止に向けた取組みの推進
- 個人情報の保護
- 利便性の向上

・医師等の確保・資質向上

- 医師等の確保・資質向上
 - －医師の学会参加、資格取得支援
 - －フォートウェーン市パークビュー病院との医療交流
- 臨床研修医の確保
- 医師の負担軽減による診療充実
 - －医師事務作業補助体制の強化
- 看護師・医療技術者の確保
 - －「7:1」看護体制の維持
 - －各種指定病院として必須な職種・資格の取得・維持に向けての人員確保・増員等
 - －看護師・医療技術者の学会参加・資格取得支援

—地域に根差した医療の提供—

・紹介・逆紹介の推進

- 総合入院体制加算の取得維持
- 地域医療支援病院を視野に入れた紹介・逆紹介の推進
- 地域医療機関との懇談会の開催等を通じた本院の医療の特長紹介

★病病・病診連携の強化

- 急性期・回復期間の医療連携強化
- 専門的医療の地域への積極的提供
- 「高岡れんけいネット」の活用・充実
- 高度医療機器の共同利用の促進
- ・地域連携クリニカルパスの推進
- ・医療支援機能の充実
- 症例検討会、カンササーボードの開催による医療情報の交換
- 高岡地域リハビリテーション広域支援センターとして、地域の医療機関や介護施設に対する支援や従事者に対するの援助・研修

・専門外来の充実

- 地域のニーズにあった専門外来の設置
- ・予防医療の推進
- 院外健康教室・出前講座の実施
- 健診の充実

—急性期・高度医療の充実—

・急性期医療の充実

- 救急医療の充実
- 集中治療部門の強化
- 災害拠点病院としての役割
- ・がん診療連携拠点病院としての機能強化
- ★包括的がん医療センターの設置
- 外来化学療法室の拡充
- 緩和ケアの充実
- 専門スタッフの確保
- ・5疾病への対策強化
- (ただし、がんは別立てとする)
- 疾病別の診療センター化
- 地域連携クリニカルパスの活用による地域完結型医療の提供
- チーム医療の推進による予後の改善
- 更なる高齢化に対応するため、各治療部門の強化
- 精神病床の体制充実
- ・感染症対策の強化
- 感染症に関する医療提供体制の整備

チーム医療の推進

—経営の安定—

・経営の安定に向けた職員の意識醸成

- －病院外部委員による経営懇話会の定期開催
- －職員の経営意識の醸成
- －H25年度からの経常収支黒字、H28年度以降の総収支黒字化のための継続的な努力

・医業収益の確保

- －本院の方向性に沿った新たな加算取得
- －紹介・逆紹介の推進
- －目標値を定めた進捗管理

・適正な職員確保と人的資源の活用

- ★多職種職員の専従配置等病院機能強化に必要な人員の確保
- ★民間委託の手法等も視野に入れた効率的で適正な職員配置

・施設改修、医療機器の更新

- －外来化学療法室の拡充等の施設改修

・修繕計画の策定

- －長期的展望に立った計画的な修繕

・薬品・医療材料の効率的運用

- －共同購入やベンチマーク比較、他病院での手法の採用

・情報化の推進

- －病院情報システムの機能向上
- －情報の分析と積極的活用

・一般会計繰入金の適正化の維持